

高校生対象 未来の科学者育成セミナー

第一部 特別講演 (英語講演)

「皮膚と微生物の共存と攻防」

Professor Keisuke Chris Nagao, NIH Clinical Center, USA



- 1994 慶應義塾大学医学部卒業
- 1994-1996 慶應義塾大学医学部研修医(皮膚科学)
- 1996-1997 静岡赤十字病院に出向、医員(形成外科)
- 1997-2001 清水市立病院に出向、医員、医長(皮膚科)
- 2001-2005 慶應義塾大学医学部助手(皮膚科学)
- 2005-2008 Dermatology Branch, National Cancer Institute (NCI), National Institutes of Health (NIH) に留学
- 2008-2010 慶應義塾大学医学部助教(皮膚科学)
- 2010-2014 慶應義塾大学医学部専任講師(皮膚科学)
- 2014-2017 Earl Stadtman Investigator, Dermatology Branch, NCI, NIH
- 2017-2019 Earl Stadtman Investigator & Head, Cutaneous Leukocyte Biology Section, Dermatology Branch, National Institute of Arthritis and Musculoskeletal and Skin Diseases (NIAMS), NIH

皮膚は体の最外層のバリアとして私達を守っています。皮膚の表面には様々な微生物が存在し、内側には多くの免疫細胞が待機しています。微生物は免疫の活性化や傷の治りを助けてくれる重要な存在ですが、増えすぎると感染症、炎症や発癌を来したりします。私達と微生物の関係はどの様に保たれているのでしょうか？今回は、全編英語で、皮膚と微生物の共存と攻防の仕組みをお話すると共に、先端技術を用いた皮膚疾患の治療を紹介いたします。

第二部 サイエンスショー

五十嵐 美樹 Miki Igarashi



幼い頃、科学に興味を持つきっかけとなったのは「虹を作る実験」。

その時の感動を今の子どもたちにも伝える活動を展開し『科学のお姉さん』として全国各地でサイエンスショーや講演を開催特に特技のヒップホップダンスで魅せる、おどるサイエンスショーは必見!

その他「ミス理系コンテスト」でグランプリの受賞歴も持つ。

- ・環境省 浮体式洋上風力発電広報アンバサダー
- ・国際科学オリンピック応援団
- ・ジャパンGEMSセンター特任研究員
- ・東京都市大学 人間科学部特任准教授
- ・東京大学大学院 情報学環客員研究員
- ・東京大学大学院 学際情報学府修士課程修了(科学コミュニケーション専攻)
- ・東京大学 科学技術インタープリター養成プログラム修了
- ・上智大学 理工学部機能創造理工学科卒業(物理学専攻)

今回のサイエンスショーは、科学の面白さだけでなく、皮膚研究を目に見える形でご覧いただける、オリジナルバージョンを企画しました!

皮膚は人体で最大の臓器です。外界と生体が触れ合う場所として、恒常性や生体防御に中心的な役割を持っています。現在、臨床的応用性を踏まえた最新科学としての皮膚に関する研究を追求することが、医学・生物学全体から大きな注目を集めており、2021年ノベル医学生理学賞も皮膚の感覚センサーの研究でした。

皮膚研究の楽しさの一部をみんなで楽しく勉強しませんか?

【お問い合わせ先】

日本研究皮膚科学会 未来の科学者育成セミナー運営準備室

E-mail: isid2023@convention.co.jp

